

平川市議会 たばこ対策に関する一般質問のポイント

市民の健康を守り、
祭りや観光をより魅力的にするために

1 市の喫煙率の現状と課題

目標達成に向け、抜本的な対策が必要

成人喫煙率の推移



年齢別喫煙率の特徴

40～50歳代の喫煙率が特に高く、20～30歳代も含めた対策が急務。



2 禁煙支援の強化について

医療費補助の実施を提案

議員の提案

禁煙外来の医療費自己負担分の1/2（上限1万円）を補助する事業を実施してはどうか。



禁煙のきっかけになります

市の負担の試算（例）
特定健診での喫煙者 549人
× 補助1万円 = 約600万円

市の答弁

- 禁煙の普及啓発や医療機関での受診勧奨を継続して実施する。
- 禁煙外来への補助は、非常に有効な手段と考える。
- 令和2年4月から飲食店などでも屋内禁煙が義務化されることから、市民の禁煙の機運が高まると予想される。
- 今後、前向きに検討していきたい。

3 受動喫煙の健康への影響

本人だけでなく、周囲の人の健康にも深刻な影響

主な健康リスク

- 肺がんをはじめとする多くのがんの原因
- 心筋梗塞・脳血管疾患のリスク
- 乳幼児のぜんそく、乳幼児突然死症候群の原因

受動喫煙がなければ、
約1万5,000人がこれらの疾患で
死亡せずに済んだと推計。



4 公共施設の喫煙所について

建設中の喫煙所は今後どうするのか

議員の質問

県が来年度、改正法より踏み込んだ受動喫煙防止条例を制定予定。公共施設8カ所に建設中の喫煙所を今後取り壊すのか、方針は？

市の答弁

- 平成31年の一般質問での提案を受け、受動喫煙防止のために設置している。
- 多くの人が集う場所では分煙が有効。
- 県の骨子案とは異なる方法だが、受動喫煙防止の趣旨にのっとり、
公共施設への喫煙所は継続して設置する考えである。

建設中の8施設

- 本庁舎 ● 文化センター
- 尾上庁舎 ● ひらかドーム
- 磯ヶ関庁舎 ● 平賀体育館
- B&G尾上体育館
- ひらかわドリームアリーナ



喫煙所（イメージ）

5 祭り・イベントでの対策

ねぶた祭りなどでの無秩序な喫煙への対応

議員の指摘

ねぶた祭りやあどの祭りでは、観客や参加団体の無秩序な喫煙が多く、受動喫煙の影響が心配。観客席の禁煙や参加団体への指導は行っているのか？



市の答弁（経済部長）

平川ねぶたまつり（8月2・3日）

- 現在、特別な対策はしていない。
- 有料観覧席は全て禁煙として利用者に周知している。

平川あどの祭り（8月14日）

- 中央公園内に喫煙コーナーを設置。
- チラシやアナウンスで周知。
- 参加団体に、所定の場所での喫煙を依頼。

今後の対応

- 人混みを避けた喫煙場所の設置、チラシ掲載等で観客へ周知。
- 参加団体へのルール徹底。
- その他のイベントや観光地（猿賀公園・志賀坊森林公園など）でも、分煙対策や注意喚起を行う。

6 今後の提案・要望

より効果的なたばこ対策を

議員からの追加提案

- 禁煙達成者に健康ポイントを付与（例：3ポイント＝入浴券5,000円相当のチャンス）し、禁煙の動機づけに。
- 市内に半永久的な公衆喫煙所の設置を検討してはどうか。

市の回答（経済部長）

公衆喫煙所の設置については、経費等の問題もあるため、提案として伺っておきたい。



今後の
主な方向性



禁煙支援の強化
医療費補助などを
今後検討



公共施設の分煙
喫煙所は継続設置
（受動喫煙防止のため）



祭り・イベントの対策
喫煙場所の明確化・周知、
参加団体へのルール徹底



観光地でのマナー向上
猿賀公園などで
注意喚起・啓発



健康長寿の実現へ
市民の健康を守り、
魅力あるまちづくりを推進